

樺細工の美を角館から世界へ 「使い継ぐ生活道具」の価値を伝える産地問屋

有限会社 富岡商店

オリジナルブランド「art KABA」を立ち上げ、一流ブランドも認める「生活道具」をプロデュース。角館に伝わる伝統工芸に現代の息吹を吹き込んでいる。

世代を超えて“使い継ぐ”ことの意味

国指定伝統的工芸品である樺細工をメインに、工芸品の企画デザインから製造販売までを行っている富岡商店。昭和45年、富岡浩樹社長の先代が、廃業した樺細工問屋の菊地商店を継承して設立した会社である。樺細工は、歴史・製法・品質・原材料いずれにおいても希少な価値があり、一つ一つが手作りの高価なもの。富岡社長は、「手仕事の逸品を直しながら世代を越えて大切に使う。そういう文化を守り伝えていきたい」と語る。それは、家族の絆を結び、職人が生かされ、感性を養い、伝統を育む土壌となる。そのことを知っている富岡社長には「樺細工を絶対に守る」という強い使命感がある。

経営の覚悟を決める「商標登録」

平成17年、「アート&クラフト香月」として、武家屋敷通りから少し奥に入ったところに本店を移転オープンした。また、平成23年にはデザインブランド「art KABA」を立ち上げ、インテリア雑貨としての樺細工製品を発表。これからはブランド力を強化する必要があると考え、あきた企業活性化センターの「知財総合支援窓口」に相談して「TOMIOKA」及び「art KABA」の2件を国内で商標登録した。続けて、販売が好調な中国での足固めを図るためこの2件の商標を同国へも申請中である。「ブランドを守るということだけでなく自社商品の品質を磨き続けるという意味もあります。知財総合支援窓口で申請方法などを指導いただき、助かりました」（富岡社長）

事業の解説 県内中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題にワンストップで対応するとともに、知財の有効活用を促進するため、「知財総合支援窓口」を設置し、知財を活用した事業化を支援します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／知財・研究管理担当まで。



モダンでおしゃれな「アート&クラフト香月」の店内。樺細工だけでなく、着物地のリメイクコート、南部鉄器、漆製品や漆目銅のアクセサリなどが陳列されている。

世界に通用する品質とデザイン

「art KABA」は、秋田杉や塩化ビニル樹脂などの異素材を組み合わせた、モダンでユニークなデザインが特長。平成24年、この商品群をひっさげてドイツで開催された国際見本市に出展した。そこで起きたのは、あのクリスチャン・ディオール社からオファーを受けるといふ、思いもしなかった出来事だ。樺細工と曲げわっぱをコラボしたトレイを納入することになったのである。富岡社長の着眼の良さが実証された瞬間とも言えよう。また、デザイン力だけでなく職人さんたちの高い技術と創る意欲がその品質を支えている。同社では製造の外注先を38軒持っていて、生産されたものは100%すべて買い取るという方針を貫いている。だからこそ作り手のモチベーションが高く、技術の研鑽にもつながっていくのだ。角館から世界へ。樺細工の中にある深い価値は、これからも国境を越えて人々を魅了するに違いない。



円筒をT字型に組んだシンパルなデザイン。「stick」と名付けられたこの一輪ざしは、ヒット商品の一つである。



ディオールに納入したトレイ。写真左が「kasanegasane」、右が「KAIKA」。樺細工と曲げわっぱの組み合わせが美しい。



原料である山桜の樹皮を採取できる人材の確保も課題」と語る富岡社長。角館工芸協同組合で採取方法を収録したDVDを制作しており、業界をあげて技能と後継者の育成に取り組んでいる。

有限会社 富岡商店

【営業本部】〒014-0202
秋田県大仙市上鶯野字熊野71番地3
Tel:0187-56-3239/Fax:0187-56-3826
<http://tomioka-shoten.co.jp/>
【アート&クラフト 香月】〒014-0325
秋田県仙北市角館町東勝楽丁2番地2
Tel:0187-54-1565 <http://ac-kazuki.jp/>
営業時間/9:00~17:00